

2014年度
日 本 史
(問 題)

〈H26080018〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、試験開始後、氏名欄に氏名を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) マーク欄には、はっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、問1～8に答えよ。

7世紀はじめ、唐が中国を統一して大帝國を築くと、周辺諸地域に緊張感が高まり、諸國は中央集権國家の確立を目指すようになった。日本も唐にならって律令制を採用し、国防、治安維持に関する制度を作り上げた。

(1) 地方の國には軍団を置き、軍団兵士の中から衛士を選抜して、1年間中央に送った。中央では衛門・左右衛士・左右兵衛の五衛府（のちに左右衛門・左右近衛・左右兵衛の六衛府）が宮城および京中の警衛にあたったほか、彈正台が官人の非違を糾弾した。

その後、⁽²⁾ 対外的な緊張が緩和し、兵士の質も低下してきたので、⁽³⁾ 桓武天皇の時代に軍団と兵士を廃止し、郡司の子弟や有力農民からなる健児の制が設けられたが、十分な成果を挙げることができなかった。そのため、中央の警備も不足するようになり、⁽⁴⁾ 嵯峨天皇の時代に新たに檢非違使が設置され、彈正台と共に事に当たった。

檢非違使は旧來の官制や法規に拘束されることがなかったため、徐々に職務を拡大して、彈正台のみならず六衛府の追捕・糾弾の権、⁽⁵⁾ 左右京職の警察権も掌握し、ついには右弁官局に属する A の職務までも奪うようになった。こうして檢非違使は都の警察裁判を一手に引き受けるようになり、独立した檢非違使庁も設けられた。檢非違使は、その後、中央のみならず諸國にも置かれるようになって、國檢非違使と呼ばれた。

他方、⁽⁶⁾ 9世紀末から10世紀にかけて地方政治が大きく変化し、群盜が蜂起するようになると、政府は臨時に押領使や追捕使を派遣して鎮圧にあたり、⁽⁷⁾ 承平・天慶の乱の後にはこれらを常置するようになった。

問1 下線部(1)に関連する説明として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 國司の任期は6年（のち4年）であった。
- ロ 國の下に郡があり、郡司は終身官であった。
- ハ 郡司は租税の取り立てを担当した。
- ニ 郡の下に里があり、里長は裁判などを担当した。
- ホ 大和・山城・摂津・河内・和泉は、五畿内と呼ばれた。

問2 下線部(2)に関連する出来事として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 高句麗が亡んだ。
- ロ 白村江の戦いがあった。
- ハ 新羅が半島を統一した。
- ニ 渤海が亡んだ。
- ホ 唐で安史の乱が起こった。

問3 下線部(3)に関連して、この時代の出来事として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 都が長岡京に遷された。
- ロ 唐招提寺が建立された。
- ハ 最澄が遣唐使に従って入唐した。
- ニ 坂上田村麻呂が胆沢城を築いた。
- ホ 『万葉集』が成立した。

問4 下線部(4)に関連して、この時代の出来事として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 藤原冬嗣が皇室と姻戚関係を結んだ。
- ロ 蔵人所が置かれた。
- ハ 『懐風藻』が成立した。
- ニ 薬子の変が起こった。
- ホ 空海が高野山に金剛峰寺を建立した。

問5 下線部(5)に関連する説明として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 平城京は唐の長安にならい、東西南北に走る道路で区画された。
- ロ 京の中央を朱雀大路が走り、北端に羅城門・大内裏、南端に朱雀門を置いた。
- ハ 長岡京への遷都は、造営を主導した藤原種継が暗殺されたため中断された。
- ニ 平安京では、朱雀大路南端に東寺、西寺が置かれた。
- ホ 平城・平安両京とも、左右京に市を置き、市司に管理させた。

問6 Aに入るものとして適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 刑部省
- ロ 式部省
- ハ 民部省
- ニ 治部省
- ホ 宮内省

問7 下線部(6)に関連する説明として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 納税義務を逃れる農民が増え、律令と実態とが乖離してきた。
- ロ 荘園が増加して、国家財政が圧迫されるようになった。
- ハ 東北地方で蝦夷との戦いが続いた。
- ニ 地方豪族や有力農民が武装化し、各地で紛争が発生するようになった。
- ホ 国司の暴政が増えてきた。

問8 下線部(7)に関連する説明として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 平将門は常陸・武蔵・下野の国府を攻め、新皇と称した。
- ロ 平将門は平国香や追捕使藤原秀郷に討たれた。
- ハ 藤原純友は海賊の棟梁となり、大宰府を焼き討ちした。
- ニ 藤原純友は源経基や押領使小野好古に討伐された。
- ホ 乱後、朝廷や貴族は武士を侍として奉仕させるようになった。

II 次の【史料】を読み、問1～8に答えよ。

【史料】

(1) 去々年の兵乱以後、諸国の庄園郷保に補せらるる所の地頭、沙汰の条々

一 得分の事

右、宣旨の状の如くば、^{なとい}仮令、田畠各拾一町の内、十町は A の分、一丁は B の分、広博狭小を嫌はず、此の率法を以て免給の上、C は段別に五升を充て行はるべしと云々。尤も以て神妙。但し此の中、本自將軍家の御下知を帶し、地頭たるの輩の跡、没収の職として、改補せらるる所々に於いては、得分縦ひ減少すと雖も、今更増加の限りに非ず。是れ旧儀に依るべきの故なり。^{しかのみならず}加之、新補の中、本司の跡、得分尋常の地に至っては、又以て成敗に及ばず。只得分無き所々を勸注し、宣下の旨を守って計らひ充てしむべきなり。(中略)

貞応二年七月六日

(5) 相模守殿

(4) 前陸奥守 判

(6) (新編追加)

問1 下線部(1)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ この乱以降、朝廷に対する幕府の優位が確立した。
- ロ 北条政子の呼びかけに応じて多くの御家人が幕府側に結集した。
- ハ 戦いに勝利した幕府は仲恭天皇と後鳥羽上皇を配流した。
- ニ この乱の後、京都に六波羅探題が設置された。
- ホ 上皇側の兵力は畿内・西国の武士や大寺院の僧兵が主体であった。

問2 下線部(2)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 郷や保は荘園内部の単位であった。
- ロ 鎌倉時代になっても貴族・大寺社は多くの荘園を所有していた。
- ハ 源頼朝の所有する荘園は500カ所以上に上った。
- ニ 幕府は、地頭に命じて大田文を作成させ、荘園の管理を図った。
- ホ 荘園郷保において年貢・公事などを負担した者を百姓と呼ぶようになった。

問3 下線部(3)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 下線部(1)の乱で戦功のあった御家人がこの地頭に任命された。
- ロ この地頭と従来の地頭との紛争を解決するために下地中分が行われた。
- ハ この地頭に任命されたのはおもに西国の御家人であった。
- ニ この地頭はおもに西国の土地に任命された。
- ホ この地頭と区別して従来の地頭を本補地頭と呼ぶ。

問4 上記【史料】の **A** , **B** に入る語句の組み合わせとして、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ A：地頭——B：預所 ロ A：地頭——B：領家国司 ハ A：領家国司——B：預所
- ニ A：領家国司——B：地頭 ホ A：預所——B：領家国司

問5 下線部(4)は北条義時を指す。北条義時についての記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 源頼家を伊豆修善寺に幽閉した。
- ロ 父から引き継いだ執権の地位を確立した。
- ハ 政所別当と侍所別当を兼ねた。
- ニ 和田義盛を滅ぼした。
- ホ 連署・評定衆を設置した。

問6 下線部(5)の人物に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 下線部(4)の人物の弟である。
- ロ 連署として下線部(4)の人物を補佐した。
- ハ 六波羅探題として朝廷の監視や西国の統括にあたった。
- ニ 下線部(1)の乱に際して幕府側の軍勢を率いた。
- ホ 皇族将軍を擁立した。

問7 上記【史料】の **C** に入るものはどれか。1つ選べ。

- イ 加徴 ロ 年貢 ハ 公事 ニ 官物 ホ 兵糧

問8 御成敗式目に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 下線部(6)は御成敗式目の追加法令集として、室町時代に編纂された。
- ロ 御成敗式目は武士社会の道理にもとづいて作られた。
- ハ 御成敗式目には御家人と荘園領主の紛争を裁くための基準も定められている。
- ニ 御成敗式目制定後も荘園領主の下では公家法が効力をもっていた。
- ホ 御成敗式目が定める悔返し権は武家独自のものである。

Ⅲ 次の文章を読み、問1～8に答えよ。

17世紀の日本では、農業を中心とする生産活動の拡大にともなって、裕福な商人が増加し、貨幣経済は農村地域にまで浸透した。とりわけ港湾都市における商人の成長が著しく、藩の財政に影響を及ぼすまでに成長した。しかし、18世紀に入ってから幕府の運営をめぐる環境が変化した。(1) 1716(享保元)年徳川吉宗が8代将軍に就くと、行き詰まった政治、経済状況を打開すべく一連の改革を実施した。(2) また、商取引や金銀貸借をめぐる訴訟に効果的に対応するために、当事者間で解決させる政策(3)を打ち出した。吉宗は『御触書寛保集成』をはじめとする法令の編纂につとめ、幕政の刷新を目指した。また、火災から江戸を守ることや、庶民の生活を安定させるための都市政策の充実も改革の重点の一つであった。しかし、改革以後の年貢増徴策により、小百姓たちの生活が圧迫され、百姓一揆が頻繁に発生した。11代将軍徳川家斉の補佐として老中に就任した松平定信(5)も、大胆な改革を行った。寛政の改革(6)と呼ばれる一連の政策は、幕府の権威を高めることを目的としたが、民衆の反発を招いた。12代将軍家慶のもとでも、水野忠邦を中心に再度の改革(7)を展開して内憂外患に対応したが、幕府権力の衰退(8)を阻止することはできなかった。

問1 下線部(1)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 耕地の拡大にともなって米の生産が増加した。
- ロ 質地小作が増大した。
- ハ 米価をはじめ、諸物価は低迷した。
- ニ 内職で生計を維持する下級武士が現れた。
- ホ 多数の農民が参加する強訴が増えた。

問2 下線部(2)に関連して、徳川吉宗の時代の政策として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 側用人による側近政治を中止した。
- ロ 人材登用のために、役職に就任する者の家禄を引き上げた。
- ハ 大名の参勤交代の在府期間を半減した。
- ニ 大坂堂島の米市場を公認した。
- ホ 漢訳洋書の輸入制限を緩めた。

問3 以下は下線部(3)に関連して制定された「相对済し令」の抜粋である。A～Dに入るものの組み合わせはどれか。1つ選べ。

近年、A段々多く成り、Bの節も此儀を専ら取扱ひ、Cは末に罷成、評定の本旨を失ひ候。借金銀・D等の儀は、人々相对の上の事に候得ば、自今は三奉行所にて済口の取扱ひ致す間敷候。

- イ A：買懸り B：金銀出入 C：評定所寄合 D：公事訴訟
- ロ A：公事訴訟 B：評定所寄合 C：金銀出入 D：買懸り
- ハ A：評定所寄合 B：公事訴訟 C：買懸り D：金銀出入
- ニ A：金銀出入 B：評定所寄合 C：公事訴訟 D：買懸り
- ホ A：公事訴訟 B：買懸り C：金銀出入 D：評定所寄合

問4 以下は下線部(4)に収められた「上米の令」の抜粋である。Eに入るものはどれか。1つ選べ。

左候ハねば御家人の内数百人、御扶持召放さるべきより外は之無く候故、御恥辱を顧みられず仰せ出され候。高一万石ニ付八木E石積り差し上げらるべく候。

- イ 百 ロ 二百 ハ 三百 ニ 五百 ホ 千

問5 下線部(5)に関連して、松平定信の時代に行われた政策として、正しいものはどれか。1つ選べ。

- イ はじめて定量の計数銀貨を鑄造させた。
- ロ ロシア人との交易の可能性を探るため、最上徳内を蝦夷地に派遣した。
- ハ 銅座を創設した。
- ニ 印旛沼、手賀沼の大規模な干拓工事を始めた。
- ホ 棄捐令を出して、困窮する旗本、御家人を救済した。

問6 下線部(6)に関連して、寛政の改革で行われた政策として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 上方の酒の江戸への流通を奨励した。
- ロ 豪商を勘定所御用達に登用した。
- ハ 正業を持たないものを農村に帰らせるための資金を提供した。
- ニ 無宿人に技術を身につけさせるための施設を設けた。
- ホ 町費節約分の3割を積み立てさせて、貧民救済の体制を整えた。

問7 下線部(7)に関連して、天保の改革の内容として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 儉約令を出して、贅沢品を禁じた。
- ロ 株仲間の解散を命じた。
- ハ 飢饉に備えて各地に社倉・義倉などの施設を創設した。
- ニ 札差に低利の貸出しを命じた。
- ホ 財政の安定をはかるため、江戸・大坂周辺を直轄地にする計画を立てた。

問8 下線部(8)に関連して、幕府が計画した三方領知替の失敗は幕府の弱体化を象徴する出来事であった。この転封計画に関わった藩として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 水戸藩 ロ 長岡藩 ハ 川越藩 ニ 会津藩 ホ 庄内藩

IV 次の文章を読み、問1～8に答えよ。

結核はかつて「亡国病」と呼ばれ、今日に至るまで多くの人々の健康と生命を奪ってきた。この病気は、1882年にドイツの細菌学者コッホによって発見された結核菌によって引き起こされる感染症であり、日本では、1900年前後から感染が爆発的に拡大した。第二次世界大戦後に治療法が改善されるまで、結核は日本人の三大死因の一角を占めつづけ、「不治の病」として恐れられた。

明治期の結核の拡大は、近代化と密接な関係がある。工場、学校、兵営など若年者が大規模な集団生活を行う機会の急増は、結核感染の温床となった。とくに日清戦争前後に進展した日本の産業革命の中心となった繊維産業では、寄宿舎生活をしながら劣悪な環境で長時間労働に従事した女子労働者(女工)の間で結核が蔓延し、社会問題となった。女工の多くは、農村部からの出稼ぎであり、結核に罹患した者の帰郷は農村に感染を拡大させる原因となった。

結核は慢性化することが多く、患者は死の可能性と向き合いながら長期にわたる療養生活を余儀なくされた。一方で、徳富蘆花の『不如帰』などの文学作品のモチーフとされたことで、結核には一種のロマンチックなイメージが付与されていった。また文学者自身が結核に身体をむしばまれることも少なくなかった。

問1 下線部(1)に師事したAは、帰国後伝染病研究所を設立し、B発見などの業績を上げた。この文章のA、Bに入るものの組み合わせとして、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ A：北里柴三郎——B：赤痢菌 ロ A：志賀潔——B：赤痢菌
- ハ A：北里柴三郎——B：ペスト菌 ニ A：志賀潔——B：梅毒スピロヘータ
- ホ A：志賀潔——B：破傷風菌

問2 下線部(2)に関連して、官営の後に民間に払い下げられたものとして、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 長崎造船所 □ 池貝鉄工所 ハ 東京砲兵工廠
ニ 深川セメント製造所 ホ 富岡製糸場

問3 下線部(3)に関連して、明治期の学校教育に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 政府は明治5年に学制を公布し、4年間の義務教育を開始した。
□ 学制はフランスの制度を模範としていた。
ハ 国民生活の実情に合わないとして学制に反対する一揆も起こった。
ニ 男子の中等教育機関として中学校が設けられた。
ホ 女性教員養成のために女子師範学校が設けられた。

問4 下線部(4)の時期に行われた経済政策として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 新貨条例の制定 □ 国立銀行条例の制定 ハ 造船奨励法の制定
ニ 貨幣法の制定 ホ 日本勧業銀行の設立

問5 下線部(5)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 大阪紡績会社の成功によって民間の会社設立が促された。
□ 日清戦争のころには器械製糸の生産量が座繰製糸を上回った。
ハ 織物業では力織機が導入され生産が増大した。
ニ 日露戦争後に生糸は最大の輸出品となった。
ホ 1890年には綿糸の国内生産量が輸入量を上回った。

問6 下線部(6)に関連して、工場労働者の保護のために制定された工場法についての記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ この法律の制定の翌年警視庁に特高が設置された。
□ 12歳未満の者の就業を禁止した。
ハ 女性・少年の深夜業を禁止した。
ニ 資本家らの反対が強く、施行が延期された。
ホ 『女工哀史』に描かれた苛酷な労働条件がこの法律制定の契機となった。

問7 下線部(7)に関連して、この時期の農村についての記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 綿花の生産が減少し、桑の栽培と養蚕がさかんになった。
□ 耕作に携わらない寄生地主が増加した。
ハ 地主は小作料による収益を投資に回すようになった。
ニ 松方デフレ収束に伴い小作地率は低下した。
ホ 政府は農会法を制定して農業技術の改良を促した。

問8 下線部(8)に関連して、結核に罹患した作家とその作品との組み合わせとして、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 長塚節——『牛肉と馬鈴薯』 □ 石川啄木——『悲しき玩具』 ハ 正岡子規——『病牀六尺』
ニ 国木田独步——『武蔵野』 ホ 樋口一葉——『にごりえ』

V 次の文章を読み、問1～8に答えよ。

(1) 新安保条約が発効した後、岸信介内閣は退陣した。1960年7月に誕生した池田勇人内閣は、その年の暮れに「国民所得倍増計画」を閣議決定した。この計画の目標は、1961年から10年間で、国民総生産を2倍にするというものであった。これに基づいて産業構造の改革、重化学工業化、それを支えるインフラの整備を進めた。こうして「国民所得倍増計画」の目標は予定より早く(2)1967年に達成された。

(3) 経済成長の方針を政策的に打ち出すことができた背後には、豊富な労働力の存在があった。産業構造の変化は、都市部への人口集中を招き、地方における産業の空洞化が引き起こされる恐れがあった。当時の農村や農業の状況を念頭に、政府は1961年に農業に関する政策の目標を定めた農業基本法を制定し、(4)農業の構造改善を図った。

他方、高度経済成長とともに問題となっていたのは、公害である。(5)四大公害の被害が表面化し、(6)公害問題に関連した社会的な動きが現れ、政府も対応に追われた。(7)佐藤栄作内閣の時に公害対策基本法を制定し、その対策に乗り出すこととなった。

こうした高度経済成長による1960年代の変化は、日本人の生活様式や生活意識を変え、多くの人々が「中流意識」を持つようになった。(8)1970年代半ばに高度経済成長に終止符が打たれてからも、都市化、核家族化が進行し続けていった。

問1 下線部(1)の頃の国内状況の説明として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 新安保条約反対運動のデモで、学生たちが連日国会議事堂を取り巻いた。
- ロ 予定されていたアイゼンハワー米国大統領の訪日が中止に追い込まれた。
- ハ 新安保条約が衆議院を通過した後、参議院で議決できないまま自然承認された。
- ニ 破壊活動防止法が制定された。
- ホ 日本社会党から民主社会党が分立した。

問2 下線部(2)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 太平洋ベルト地帯に産業と人口が集中した。
- ロ エネルギー転換により石油化学コンビナートが建設された。
- ハ 「列島改造」が首相により提唱された。
- ニ 臨海部に製鉄所が建設された。
- ホ 傾斜生産方式により基幹産業の強化が図られた。

問3 下線部(3)よりも前の出来事として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ IMF 8 条国への移行
- ロ 貿易為替自由化計画大綱の策定
- ハ 先進国首脳会議への参加
- ニ 新東京国際空港の開港
- ホ 世界銀行への加盟

問4 下線部(4)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 農地の区画整理などに補助金が投入された。
- ロ 新食糧法が施行され、民間取引の自主流通米が出回るようになった。
- ハ 生産性が飛躍的に向上し、農家の所得が増加した。
- ニ 農家の兼業化や省力化が急速に進んだ。
- ホ 食料自給率が50%を下回るようになった。

問5 下線部(5)の四大公害の発生した県と原因物質の組み合わせのうち、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 三重県——亜硫酸ガス
- ロ 愛知県——有機水銀
- ハ 熊本県——カドミウム
- ニ 新潟県——亜硫酸ガス
- ホ 富山県——有機水銀

問6 下線部(6)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 公害が犯罪として処罰の対象とされるようになった。
- ロ 都市部で騒音問題が取りざたされるようになった。
- ハ オゾン層の破壊が取りあげられ、社会問題となった。
- ニ 光化学スモッグ注意報が発令されるようになった。
- ホ 環境庁が設立された。

問7 下線部(7)の人物に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ ノーベル平和賞を受賞した。
- ロ 首相在任中、日中国交正常化を実現した。
- ハ 首相在任中、日韓基本条約を締結した。
- ニ 首相在任中、沖縄の本土復帰を実現した。
- ホ 首相在任中、小笠原諸島の本土復帰を実現した。

問8 下線部(8)の時期の出来事として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ ロッキード事件が起こった。
- ロ 石油ショックによる物価の高騰が起こった。
- ハ 3Cと呼ばれるカラーテレビ・クーラー・カー(自動車)の普及が始まった。
- ニ 文化財保護法が制定された。
- ホ 国有鉄道が6社に分割、民営化された。

[以下余白]

